

第16回 日野市住宅ストック活用推進協議会

日時：令和4年3月17日(木)

10時00分～12時00分

場所：505会議室

【 次 第 】

1. 開会

2. 配布資料確認

3. 議事

1. 空き住宅等対策計画の改定（案）に関する事項

資料1

2. 令和3年度の実績と令和4年度の取り組み（案）

資料2

4. 報告

1. 「まちと空き家の学校」実施状況と実績

資料3

5. 閉会

<<配布資料>>

- 資料1-1 パブリックコメントの実施の結果
- 資料1-2 日野市空き住宅等対策計画_第2期（本編）の案
- 資料1-3 日野市空き住宅等対策計画_第2期（導入版）の素案
- 資料2-1 令和3年度の実績
- 資料2-2 令和4年度の取り組み（案）
- 資料3-1 「まちと空き家の学校」の実施状況
- 資料3-2 「まちと空き家の学校」の実績
- 参考資料 第15回日野市住宅ストック活用推進協議会協議要点録

日野市空き住宅等対策計画(第二期)の改定案に関する
パブリックコメント実施の結果について

<パブリックコメントの概要>

1. 計画の名称:日野市空き住宅等対策計画(第二期)
2. 計画の期間:令和4(2022)年4月～令和8(2026)年3月、5年間
3. 実施期間:2月4日(金)～3月7日(月)
4. 閲覧内容:(1)空き家対策に関する計画のお知らせ(A4 サイズ1枚)
(2)日野市空き住宅等対策計画の概要(A3サイズ1枚)
(3)日野市空き住宅等対策計画(案)(A3サイズ33枚※)
※最終的に印刷する計画の冊子は A4サイズ。今回閲覧する資料は A4サイズ冊子の見開きを1枚。
5. 閲覧場所:都市計画課、七生支所、豊田連絡所、市内各図書館、
市政図書室、市HP
6. 意見提出方法:郵送、持参、ファックスまたはEメールにて。

<パブリックコメント実施の結果>

1. 意見提出者:なし
2. 意見数 :なし

<今後の予定>

- ・3月17日:住宅ストック活用推進協議会にて計画最終案の確認
- ・3月下旬:計画の策定及び印刷
- ・4月～ :第二期計画の運用

空き家対策に係るこれまでの取り組み状況等（令和4年度2月末時点）

資料2-1

	平成29年度	平成30年度	R1年度	R2年度	R3年度(2月末時点)
戸建空き家数※	860棟	820棟	816棟	761棟	724棟
問合せ棟数 (内、解決数)	77棟 (年度内58棟) (年度外15棟)	74棟 (年度内:46棟) (年度外:25棟)	57棟 (年度内:36棟) (年度外:13棟)	83棟 (年度内:62棟) (年度外:13棟)	63棟 (年度内:37棟)
不動産流通数 (内、実施数)	1件 (1件解体)	7件 (1件解体)	9件 (5件解体等)	16件 (9件解体等)	20件 (12件解体等)
相続財産管理人 制度の活用	—	1件	2件	1件	0件
活用マッチング (内、成立数)	5件 (5件、累計7件)	2件 (1件、累計8件)	6件 (4件、累計12件)	2件 (2件、累計14件)	7件 (5件、累計19件)
活用希望者数 (内、成立者数)	12者(累計28者) (3者、累計5者)	10者(累計38者) (2、累計6者)	3者(累計41者) (3、累計9者)	9者(累計50者) (0、累計9者)	18者(再登録) (3者)
地域貢献活用 改修費等補助数	3	3 (累計6)	4 (累計10)	0 (累計10)	4 (累計14)
地域貢献活用 専門家派遣事業	3	5 (累計地域数6)	2 (累計地域数6)	0 (累計地域数6)	—
アドバイザー 派遣事業	—	—	—	—	アドバイザー登録:4件 派遣回数:0回
住宅地活動 支援制度	—	—	—	—	0件(電話相談1件)
まちと空き家の 学校	—	—	—	—	受講生26名 卒業25名予定
周知啓発	7月 専門家制度説明会 8月 空き家対策説明会 (平山地域の老人会)	4月 専門家制度説明会 8月 空き家対策説明会 (平山中アクションプラン) 10月 空き家対策説明会 (西平山地域の自治会)	6月 専門家制度報告会		9月 まちと空き家の学校 公開シンポジウム
その他	5月 協議会開始 7月 地域貢献活用補助 金開始(改修費・専門家)	2月 相続財産管理人制度 による選任決定	8月～ (仮称)空き家の学 校制度創設業務 11月 不動産流通の仕組 みを更新		5月～ 対策計画改定 10月～ まちと空き家の 学校開始

※戸建空き家数は、平成27年に実施した現場調査の情報を基に、新たに確認した空き家や除却された空き家の情報を更新した情報

空き家対策に係るこれまでの取り組み状況等（令和4年度2月末時点）

資料2-1

令和 4 年度の主な取り組み（案）

＜継続して行う取り組み＞

想定 の 時期	取組み内容	対策計画の 施策
通 年	適切な管理がなされない空き家に対する働きかけ	施策 3
通 年	空き家所有者に対する不動産流通の案内	施策 4
6月～	まちと空き家の学校 運営開始	施策 2,5
適 宜	新たな空き家に関する情報の把握、整理	施策 1
適 宜	市民や所有者に対する情報発信・PR	施策 2

＜新規の取り組み＞

想定 の 時期	取組み内容	対策計画の 施策
4月～	対策計画の改定周知	全て
適宜	重点的な空き家の利活用や更新の推進	施策 6

※日野市空き住宅等対策計画の主な施策(改定後)

施策 1：空き家に関する情報の把握と整理

施策 2：所有者等、地域、市民などへの情報発信

施策 3：管理がなされていない空き住宅等の改善促進

施策 4：空き住宅等や既存住宅の流通の促進

施策 5：空き家の多面的な活用の促進

施策 6：特定エリアでの重点的な空き家の利活用や更新の推進

「まちと空き家の学校」の実施状況

講座 2 について

開催日：令和 4 年 1 2 月 1 1 日(土) 10:00~12:00

参加人数：24 名

実施内容

■導入講義

→前回の振り返り・小さな場作りの提案

■提案作成～グループでの話し合い

■実習 2 に向けた企画

→実際に活用されている空き家で各班に分かれて作成した企画発表

実習 2 について

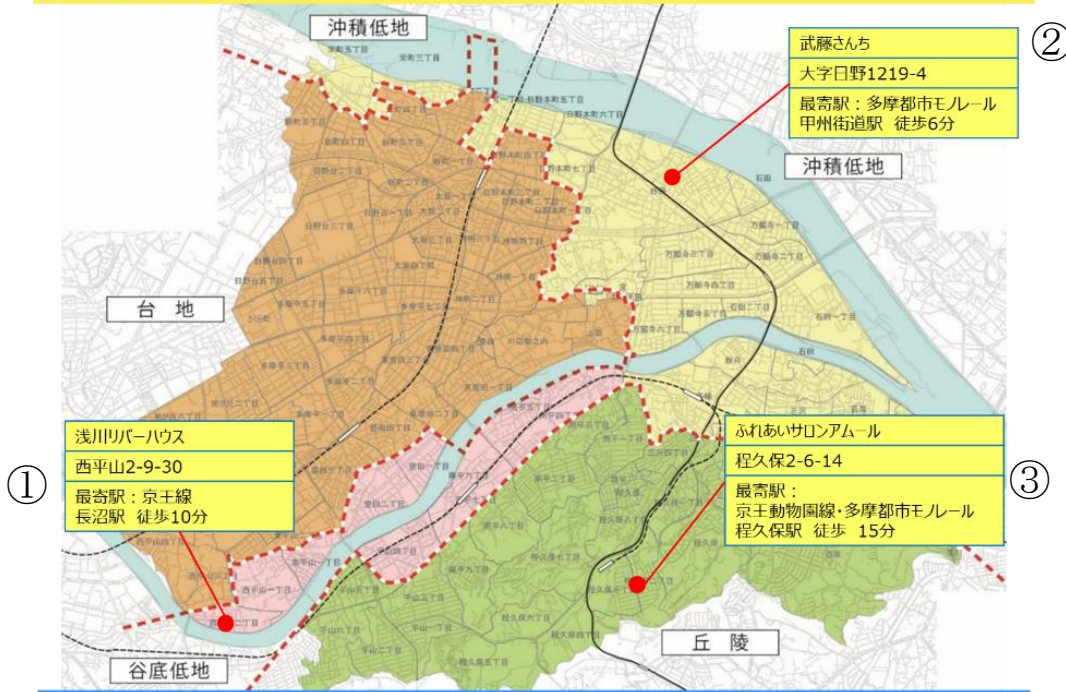
開催日：令和 4 年 1 月 2 2 日(土) 13:00~16:10

参加人数：23 名

実施内容

以下の 3 か所の空き家活用現場でお試し利用を行った。

空き家実習場所



① 浅川リバーハウス(西平山 2-9-30)

まちと空き家の学校実習
お正月あそびの会



地域のおじいちゃんと一緒に遊びませんか？

コマ回し、けん玉、福笑い、お手玉、おはじき…
昔から日本にある遊びですが、最近ではあまり見かけませんよね。
伝統的なお正月遊びは、子どもの発達をうながす要素もたくさん！
ババママも地域で楽しく交流しながら、子どもと特別な時間を過ごしませんか？

2021年1月22日(土)

時間 ▶ 14:00～14:40
場所 ▶ 浅川リバーハウス 日野市西平山2-9-30
料金 ▶ 無料
駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください

【お問い合わせ】
日野市まちづくり部都市計画課住宅政策係
TEL:042-514-8371
MAIL:tosiikei@city.hino.lg.jp

1班は多世代交流を目的として、子供たちに、すごろく、おはじき、折り紙、こまあそびなど昔からの日本のお正月の遊びを体験してもらう企画を立てました。受講生の知人の地域の高齢者の方が先生役として参加、こま回しや折り紙を教えてくださいました。チームメンバーの声かけを通じ、参加者も小学校低学年くらいの子どもたちが集まってくれました。

いろんな遊びを体験してほしいという目的で、スタンプラリーのような形で、遊んだものにはスタンプ、たくさんスタンプが集まるとお菓子がもらえるという工夫もこらしました。



西平山エリア
金融リテラシー向上 勉強会

2022年1月22日(土)
15:10～(40分)
講師・進行: 五星 広宣
参加費: 無料(フリードリンク付)

勉強会の内容
本年4月から学校での金融教育が拡充!!
成人の誰もが知っておくべき金融知識について

会場 浅川リバーハウス
日野市西平山 2-9-30

参加申込 000-0000-0000 (先着 00 名まで)
・内容は、成人で定年退職者前の方向けとなります。
・地元在住で〇年間以上金融業界に在籍する現役講師がこれまでの経験を踏まえて無料でセミナーおよび勉強会を開催します。
・「無料」と名打って開催されるセミナーや相談会は、その後の営業活動が行われますが、本イベントには一切営業活動はありませんので、お気軽にご参加ください。

6班は「金融リテラシー向上勉強会」として、日常生活に役立つ金融の基礎知識を紹介する企画を立てました。受講生の一人が講師となり、金利や金融商品をどう考えればよいか、生活の中で役立つ知識などを基本からわかりやすく解説しました。

参加者の皆さんも、「大事だと思っているが、よくわからない」ということが多い金融の知識について、興味津々で聞いていました。

講座の中では、金融庁の「金融リテラシークイズ」なども紹介し、参加者同士でそれぞれの考え方を紹介しあい、交流しながら進める時間もつくりました。クイズを通じ、ふだん考えてないことを発見したという声もありました。



②武藤さんち

武藤さんちでは、3班による「ーナチュラル素材ーウキウキわくわくプチアート」、4班による「こたつでガムトークー近所の顔見知りを増やそうー」の企画の実践を行いました。

**ナチュラル素材
ウキウキわくわく
プチアート**

とき 1月22日(土)

じかん 14:00~14:40

ところ 武藤さんち

定員 先着6名

おしゃべりJAZZ喫茶も開催
雨天決行※降雪でも開催
住所:日野市大字日野1219-4
甲州街道駅多摩川方面出口徒歩8分
対象年齢:どなたでもOK
※駐車場のご用意はありません。お車でのご来場はご遠慮ください。

1. 感染症対策を行っています。
2. 名簿記入、検温、消毒のご協力をお願いします。
3. 不慣れな方を優先してご案内します。

【お問い合わせ先】日野市まちづくり部総務課福祉住宅政策係
電話:042-514-8371 メール: tsukuba@city.nishiyama.lg.jp

●このイベントは、日野市が運営する「まちと交流する学校」の実践の一環として実施しております。



3班の「プチアート」は、にんじん、大根、ピーマン、おくら、レモンなどいろいろな野菜や果物を利用したスタンプを、参加者に思い思いに押しもらって絵葉書をつくるというワークショップでした。ゆったりとしたJAZZを流す雰囲気づくり(スピーカー持ち込み)、野菜スタンプはメンバーが午前中から集まって準備。さらにそのスタンプを利用して、お部屋を飾るカフェカーテンや、ガーランドも午前中に作成し、部屋を華やかに飾りました。リビングに置いてあったこたつはキッチンに移動し、持ち込んだテーブルの周囲に集まって、立ってスタンプを押しもらうという空間設営や、外に設置する看板や、そこに貼るA3に拡大コピーしたチラシなど、随所に工夫がありました。

ワークショップの目的として「アート体験の達成感から自己肯定感を高める」ことを目指し、参加者役の4班からは「日常では行えないワークショップ体験が楽しかった」「あらかじめ用意してもらっているのもとても楽しくできた」などの感想が寄せられました。またカフェカーテンやガーランドは、現活用者さんから「置いて帰ってください」とお願いがあり、そのまま武藤さんちに飾らせていただくことになりました。

まちと空き家の学校実習

勝ち負けのない
楽しいゲームだよ！

こたつで ガムトーク！！

ご近所の顔見知りを 増やそう

みかんとお茶・お菓子つき
こたつを囲みトークゲームをしながら
ご近所さんとお近づきになりませんか？

日時:2022年1月22日(土) 15:00~15:40
場所:武藤さんち 日野市大字日野1219-4
最寄り駅:多摩都市モノレール甲州街道駅徒歩6分
駐車場はありません。公共交通機関をご利用下さい。
対象:どなたでも

場所の地図は
こちら



入口での検温、手指消毒、
マスクの着用等の感染症対策にご協力をお願いします。

【「まちと空き家の学校」に関するお問い合わせ】
日野市まちづくり部都市政策課住宅政策係
電話：042-514-8371 メール：tosikei@city.hino.lg.jp

4班は、ガムトークというワークショップツールを使って、出てきたお題について、参加者が話していくという企画を立てました。こたつを囲み、一人2分で、「名前について」「5年以上前のドラマについて」「方言について」などなど、さまざまなお題についてのトークが繰り広げられました。話し手が少し困ると、すかさず4班のメンバーから合いの手が入り、スムーズに話しが進みます。また話し終わると「ええ話しやあ」というにぎやかな一言で終わり、場が和みました。参加者からは「チームの方が、求場しているお互い顔を合わせるのが初めてのお客さんに対して、サポート、声掛けが上手で楽しく穏やか、和やかな雰囲気の中、楽しむことができた」「意外な話が自分から出てきて面白かった。皆さんの話を聞けたのも楽しかった」などの感想が寄せられました。



③ふれあいサロンアムールの様子

アムールでは、2班「自慢話2020」、5班「新春包丁研ぎショー」の企画の実践を行いました。



新春
包丁研ぎショー
Knife sharpening show

あなたも“切れ味バツガン”の包丁で運を切り開いてみませんか？
心も体も温まるスパイスティーと冬野菜の簡単レシピ付き

平山お助け隊 川崎さんによる「水を使わない包丁研ぎ」を行います。
予約不要、どなたでもご参加いただけます！
刃の鈍っている包丁をご持参の上、アムールへお越しください。
当日は、心も体も温まるスパイスティーやお茶菓子をご用意いたします。
包丁研ぎを持ちながら、のんびりお茶でもしませんか？
切れ味バツガンの包丁で新春、開運祈願！
皆さまのご参加を心よりお待ちしております*

＜お問い合わせ＞
アムール公式LINE: @600hixv

1月22日(土)
時間 **14:00-14:40**
場所 **明星地区つながりの家
ふれあいサロンアムール**
東京都日野市程久保2-6-14 (アムール看板が目印です)
参加費 **300円**(包丁研ぎ代、入場料込)

または、直接アムールへお越しください。お申し込みは、お電話ください。
(アムール電話) 日・水・木 11:00-15:00

主催: 日野市 まちと空き家の学校5班
日野市 まちと空き家の学校5班は、日野市まちづくり協議会が中心となり、市民参加型で運営されています。
本イベントを通して地域の皆さまと交流でき、また、地域活性化に貢献できます。

5班の包丁研ぎショーは、受講生Kさんが持参した機械で包丁研ぎをしている間に、お茶を飲んだり話したりしながら交流をするというプログラムです。包丁研ぎ屋さんが減っていることもあり、地域に包丁研ぎのニーズがあるのでは？というのがKさんのお考えです。包丁研ぎを待っている間に、その様子を見学したり、包丁にまつわる話や日野に鍛冶屋があった話、アムールの紹介、新春お勧めレシピ、スパイスティーの話など、それぞれのメンバーの得意分野の話題提供をしながら和やかな雰囲気での交流を行うことができました。



日野市 まちと空き家の学校実習 企画

レッツ!マイ自慢話!
自慢話2022

遠慮なし!自慢話!
普段は遠慮しがちな自慢話でも、このイベントでは遠慮なし!お互いの自慢話を素直に話し、素直に聴くイベントです。

誰でも!どんな自慢でも!
小さな自慢や大きな自慢、自分自慢、友達自慢、家族自慢、趣味自慢、仕事自慢なんでもありです!

楽しいぜー

日時: 1月22日(土)
15:10~15:50

場所 **明星地区つながりの家「アムール」**
(日野市程久保2-6-14、多摩動物公園駅から徒歩15分)
参加費: 無料
対象: 誰でもOK(子どもも大人も)

問合せ: 日野市まちづくり部 都市政策課 住宅政策係 電話 042-514-8371
メール tosikei@city.hino.lg.jp

駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい。
コロナウイルスの感染状況によっては中止になる場合がありますことをご了承ください。

2班の「自慢話2022」は、3分間で自分の自慢話を披露して、その後質問タイムを設けて交流を深めるというプログラムです。

最初、自慢話は...という雰囲気でしたが、参加者となった5班のメンバーからの多彩な話題がでてきて、こちらも楽しい場となりました。このプログラムを通じて、それぞれの人となりを知ることができてよかった!という感想がありました。



講座 3 ・ 実習 3 について

開催日：令和 4 年 2 月 5 日(土) 10：00～16：10

参加人数：25 名(うちオンラインが 11 名)

実施内容

実習 2 の振り返り、各グループからの提案発表、個人発表

「まちと空き家の学校」の実績

(1) 講座の概要

<目的>

空き家活用の事例等を広く情報発信し、人材の蓄積と事例化を促進する好循環を創出

→卒業生による活用実践等をシンポジウムやHPで情報発信し、市民や所有者の関心を高める。

所有者との活用マッチングや地域での場づくりを主体的に進められる人材を育成

→講座と実習で、受講生が活用のステップや方法等を学び、空き家活用の基礎力を養う。

⇒卒業生同士のつながり、所有者とのマッチングや地域活動の機会を通じて、地域の場づくりの創出を促進

<受講生情報>

・受講決定人数：26名 修了人数：25名(1名は途中で受講を辞退)

・修了した受講生の平均年齢：48.6歳 男女比：男8:女17

<講座等の情報>

時期	主題	内容	参加者数
9月11日(土)	公開シンポジウム	①基調講演 ②空き家対策と学校の説明	会場：53名 オンライン：59名
11月22日(土)	講座1・実習1	①活用に関する導入講義 ②空き家の現場を見学(3か所)	①24名 ②25名
12月11日(土)	講座2	お試し利用に関する講義・作成	24名
1月22日(土)	実習2	現場でお試し利用(3か所、6班)	23名
2月5日(土)	講座3・実習3	②グループ提案の講義・作成 ②グループ提案と個人発表	会場：14名 オンライン：11名

(2) 講座の成果

①受講生同士のつながりが想定以上に生まれたこと

受講期間は事務局から SNS (Slack) 活用し受講生同士と事務局の情報共有を実施。

その他、個人間で SNS(LINE、Facebook など)でのつながりも見られた

※今後の情報交流の場として、既活用者から提案のあった新たな SNS での交流も予定

②ほとんどの受講生が、講座の学びを前向きに受け止めたこと

(以下受講修了後のアンケート回答の一部)

- ・人脈が広がったこと。自分ができると、できないことがわかった。学校は一体感があって楽しい。
- ・空き家活用とひと言で言っても、そこにはオーナーの方、活用したい側など、実に様々な考え方が存在することを学んだ。お試し企画を行ったことは大変参考となった。今後は自分次第。

(3) 講座の課題

- ・現場での実習が1月だと寒い時期がずらすことを検討。(実習を秋頃実施予定)
 - ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、最終の講座ではオンライン参加者が約半数
- 意見交換が滞りなくできる配信環境、リアルとオンラインの交信が課題。